

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (1/4)

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	教授	氏名	シマ　モト　セイイチロウ 島　本　晴一郎
学歴	昭和49年　3月　東京外国語大学外国語学部インドシナ語学科（タイ語、インドシナ地域研究）卒業 平成16年12月　同志社ビジネススクール第１回技術起業家養成プログラム（京都、ロスアンジェルス）修了 平成17年　9月　東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 平成17年度言語研修ヒンディ語修了				
学位					
専門分野	国際協力、経済開発における官民連携論 企業の社会的責任（CSR）とアジア開発における民間企業の役割				
専門資格					
所属学会	平成14年　1月　国際開発学会会員 平成15年　5月　社会・経済システム学会会員 NPO政策研究所研究会員 平成23年　3月　企業と社会フォーラム（Japan Forum for Business and Society）学会				
受賞					
担当授業科目	学　部 国際協力論、アジア開発論、日本経済論、初年次演習、現代社会研究演習　、　、　、総合社会学演習　、　、現代社会関連外国書講読　、外国語専門書講読　、プロジェクト科目、総合社会実習F、ソーシャルスキル演習				
論文指導					
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	科目名	科目カテゴリー	実施学期	履修者数	
	国際協力論	講義・演習・実習・実験	春・秋	27名	
	授業の概要：　途上国の開発を、様々なデータで初期条件を把握し、比較優位、劣位を分析することで協力のあり方を考える。				
	教育活動の振り返り： パワーポイントを用い、可能な限り判り易く論じるようにした。国際協力は特殊な分野であるので、各回冒頭に穴埋め問題を課して、前回の記憶をよみがえらせ、概念の再確認をした。双方向授業を心がけたが、時間の関係で充分ではなかった。 教育活動の成果： ある程度の国際協力に関する基礎知識、考え方はできたと思うが、充分ではない。 今後の課題： ケーススタディを頻繁に取り入れること、これを軸に自分たちで考えることにより、双方向化の授業につなげたい。また実地に国際協力を携わる外部のインフォーマントも活用することが重要と思料する。				
	・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績 特になし。				
	・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等 京都CSR研究会の開催				
H26 年度 研究課題	1. 日本企業のCSRとそのインプリケーションについて 2. 東アジアにおけるCSR				
研究活動の概要 (平成二十六年度の概要)	日本企業のCSRとそのインプリケーションならびに東アジアのCSRについては、現地実査の上、3月中に報告論文にまとめ、平成27年度中に紀要に投稿を予定している。				

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/4)

平成 二十六 (2014) 年度の 主な研究成果等	(著書) (論文) (学会報告、学会活動) (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) (調査活動) (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) (学内活動) 図書館長、自己点検・評価委員会委員、大学運営会議委員、産学協働教育推進委員会委員																								
平成 二十六 (2014) 年度の 社会における活動	(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託) ・ 宇治市福祉サービス公社地域助成事業審査委員「平25.4より」 (NPO法人等の団体への参画) ・ 京都CSR研究会代表幹事「平15.10より」 ・ 京都CSR推進協議会アドバイザー「平22.4より」 ・ 滋京奈地域 産学協働教育連携推進協議会委員「平24.11より」 (自治体や企業における研修等の講師) 平成26年10月 日本新薬株式会社 社内研修、「CSRの重要性 ～CSRの正しい理解と企業の持続的発展」、於：日本新薬(株)本社																								
平成 二十一 ～ 二十五 (2009～2013) 年度の 主な研究成果等	(著書) 1. 「能動的「現代社会」学の薦めーグローバルな視点からー」、共著、平成22年3月、京都文教大学人間学部現代社会学科、『現代社会学科への誘い』(pp.27-35) (論文) (学会報告、学会活動) (その他、エッセイ・翻訳・学術講演等) 学術講演： 1. 「CSR浸透のための公開セミナー」、平成23年7月、京都市・京都商工会議所共催、ハートンホテル京都 執筆： 1. 「私の京都新聞評」、単著、平成22年5月～11月、京都新聞 その他： 1. ソフィア 京都新聞文化会議「地に着いたCSR経営を」、平成24年4月、京都新聞 (調査活動) アジア地域の開発におけるCSRの浸透度について： <table border="0"> <tr> <td>平成23年 6月 - 7月</td> <td>京都府下中小企業のCSR事情調査</td> </tr> <tr> <td>平成23年11月 - 平成24年 1月</td> <td>京都府下中小企業のCSR事情調査</td> </tr> <tr> <td>平成22年 9月</td> <td>ジュネーブの国連人権委員会事務局、ILO、NGOなどを訪問調査</td> </tr> <tr> <td>平成24年 3月</td> <td>タイ、シンガポール、インドネシアの開発状況ならびにCSR事情調査</td> </tr> </table> (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) (学内活動) <table border="0"> <tr> <td>平成20年 4月</td> <td>学生委員会委員「平22.3まで」</td> </tr> <tr> <td>平成21年 4月</td> <td>自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員「平22.3まで」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>学生相談室運営委員会委員「平22.3まで」</td> </tr> <tr> <td>平成22年 4月</td> <td>公開講座委員会(短大・地域連携委員会)委員「平23.3まで」</td> </tr> <tr> <td>平成23年 4月</td> <td>人事委員会委員「平25.3まで」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>入試委員会委員「平24.3まで」</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高大連携委員会委員「平25.3まで」</td> </tr> <tr> <td>平成24年 4月</td> <td>就業力育成支援委員会委員「平25.3まで」</td> </tr> </table>	平成23年 6月 - 7月	京都府下中小企業のCSR事情調査	平成23年11月 - 平成24年 1月	京都府下中小企業のCSR事情調査	平成22年 9月	ジュネーブの国連人権委員会事務局、ILO、NGOなどを訪問調査	平成24年 3月	タイ、シンガポール、インドネシアの開発状況ならびにCSR事情調査	平成20年 4月	学生委員会委員「平22.3まで」	平成21年 4月	自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員「平22.3まで」		学生相談室運営委員会委員「平22.3まで」	平成22年 4月	公開講座委員会(短大・地域連携委員会)委員「平23.3まで」	平成23年 4月	人事委員会委員「平25.3まで」		入試委員会委員「平24.3まで」		高大連携委員会委員「平25.3まで」	平成24年 4月	就業力育成支援委員会委員「平25.3まで」
平成23年 6月 - 7月	京都府下中小企業のCSR事情調査																								
平成23年11月 - 平成24年 1月	京都府下中小企業のCSR事情調査																								
平成22年 9月	ジュネーブの国連人権委員会事務局、ILO、NGOなどを訪問調査																								
平成24年 3月	タイ、シンガポール、インドネシアの開発状況ならびにCSR事情調査																								
平成20年 4月	学生委員会委員「平22.3まで」																								
平成21年 4月	自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員「平22.3まで」																								
	学生相談室運営委員会委員「平22.3まで」																								
平成22年 4月	公開講座委員会(短大・地域連携委員会)委員「平23.3まで」																								
平成23年 4月	人事委員会委員「平25.3まで」																								
	入試委員会委員「平24.3まで」																								
	高大連携委員会委員「平25.3まで」																								
平成24年 4月	就業力育成支援委員会委員「平25.3まで」																								

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/4)

平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度 の主な研究成果等	(学内活動 つづき) 平成25年 4月 大学運営会議委員「現在に至る」 FD委員会委員「平26.3まで」 産学協働教育推進委員会委員「現在に至る」
平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の社会における活動	(自治体、行政等 官公庁からの委託事業や委員の嘱託) 平成25年 4月 宇治市福祉サービス公社地域助成事業審査委員「現在に至る」 (NPO法人等の団体への参画) 平成15年10月 京都CSR研究会代表幹事「現在に至る」 平成21年 4月 京都商工会議所CSR特別委員会専門委員「平25.3まで」 平成22年 4月 京都CSR推進機構準備委員会 (現・京都CSR推進協議会) アドバイザー「現在に至る」 京都商工会議所CSRガイドライン策定に係る委員「平25.3まで」 平成22年度 京都中小企業家同友会参加企業 (有志) 向けアンケート実施と発表会 (学生発表会) 平成22年度 人権NGOヒューライツの人権啓もう活動に参加、資料作成に協力 平成24年11月 滋京奈地域 産学協働教育連携推進協議会委員「現在に至る」 (小中高との連携授業の講師) 平成23年 3月 京都文教高等学校、「現代グローバル社会と社会起業家たち」 平成23年 6月 京都文教高等学校 キャリアプログラム模擬授業、「総合社会学とは」 平成23年 6月 大阪府立枚方高等学校、「総合社会学とは」 平成23年10月 京都府立乙訓高等学校、「総合社会学とは」 平成24年 1月 大阪府立枚方高等学校 国際教養課程特別講座、「グローバリゼーションに向けて こぎ出すには」 平成24年 5月 京都文教高等学校、「グローバル化された現代社会の諸問題を解決するには」 平成24年 6月 京都文教高等学校、「前向きに現代社会を生き抜くには」 平成24年10月 京都府立桂高等学校、「現代社会を総合的に学ぶには」 平成24年12月 1. 大阪府立枚方高等学校、「現代社会を総合的に学ぶ意味」 2. 大阪府立枚方高等学校、「Towards a Globalized Livelihood」 平成25年 2月 京都府立乙訓高等学校、「現代社会を総合的に学ぶには」 平成25年 5月 上宮高等学校入学予定者 (2年生対象 ?) へのプレスクール課題説明、 於:京都文教大学 平成25年10月 1. 京都府立乙訓高等学校模擬授業「前向きに現代社会を生き抜くには」、於:同 校2. 京都府立桂高等学校模擬授業、「前向きに現代社会を生き抜くには」、於: 同校 平成25年11月 京都文教高等学校ALP「現代社会を総合的に学ぶ意味」、於:同校 (自治体や企業における研修等の講師) 平成22年 3月 京都経営者協会 企業のSR実践研究会講演会、「国際協力から組織のCSRを考える」 平成23年 1月 京都府 企業と人権講演会、「企業の社会的責任と人権」 平成23年 2月 京都商工会議所 講演会、「京のCSRガイドライン」 平成23年 3月 京都商工会議所女性会 講演会、「開発とCSR」 平成23年 7月 京都市 企業向け人権啓発講座、「企業の社会的責任と人権」 平成24年 5月 京都ロータリークラブ例会、対象:会員、「地に着いたCSR経営について」 平成24年 7月 国際日本文化研究センター研究会、対象:角倉プロジェクト 森洋久班 (国際 日本文化研究センター文化資料研究企画室・准教授) メンバー、「CSRとそのイ ンプリケーションについて」

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/4)

平成 二十一 〜二十五 (2009〜2013) 年度の 社会における活動	(自治体や企業における研修等の講師 つづき)
	平成25年12月 京都CSR研究会、「CSRとそのインプリケーションについて」学外発表、 於:キャンパスプラザ京都第二会議室
	(その他)
	平成17年 4月 平和堂100BAN店専門店街コミュニティ・サロンの企画運営、事務局幹事 (平和堂 100BAN店専門店街とのパートナーシップによる地域活性化プロジェクト): 月例サロ ンの企画運営、議長「平25.3まで」
	平成22年 2月 京都商工会議所主催「CSRシンポジウム」コメンテーター
	平成23年 1月 1. 京都文教公開講座「セカンドライフは冒険の時代」、於: 京都文教大学 2. 京都府商工労働観光部主催「CSRと人権」についての講演
	平成23年 2月 京都商工会議所主催「京都らしいCSRで企業価値向上を目指す」パネルディスカッ ションでの講演ならびにコーディネイター
	平成25年 4月 「島津環境・社会報告書2013」講評、株式会社島津製作所